



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL <https://www.tonyamachi.com> E-mail info@tonyamachi.com 発行/2023年6月30日

2023年度の事業計画など承認 第56回通常総会

柳谷理事長体制となって初めて迎える組合の通常総会が5月29日(月)にホテル青森で開かれ、組合員121名(本人出席55名、委任状出席66名)が出席した。総会では柳谷理事長が議長に選任され、2023年度事業計画や収支予算案等が全て原案どおり承認された。

総会終了後に行われた懇親会では、青森市長選に挑戦するため辞任した西前理事長より退任の挨拶が述べられ、組合員及び関係各位に在任中の感謝の意を表した。

また来賓を代表して、青森県商工労働部三浦部長、青森市経済部船橋次長、日本銀行青森支店武藤支店長から祝辞が述べられ、青森商工会議所の倉橋会頭の乾杯で祝宴に入った。



第56回通常総会



総会後には懇親会を開催



西前理事長が退任の挨拶

2023年度の新たな取り組みは次のとおり。

- ①事業所から排出される乾電池の共同回収実験事業の実施
- ②事故多発交差点である青森中央IC前交差点での交通安全街頭指導の実施
- ③災害時に迅速な対応ができるよう問屋町災害時連絡ガイドの新規作成及び配付



伐採前

このたび、問屋町と第二問屋町の間を流れる荒川河川敷の間屋橋から新妙見橋までの

河川敷の雑木伐採

組合では毎年この時期、景観整備事業の一環として車両マーキングシールの無料配付を実施している。

車両マーキングシールの配付は2006年から開始し、18年間の総配付枚数は4千枚を超える。組合員車両に組合のロゴマークをモチーフとしたマグネットシールを貼り付けてもらい、問屋町の一体感醸成及び新たなPRチャネルとして機能してきた。

車両マーキングシール 無料配付

組合では毎年この時期、景観整備事業の一環として車両マーキングシールの無料配付を実施している。

④SDGsへの関心と行動喚起を促すためカードゲーム研修の開催や標語の募集、フェアトレード商品の販売



雑木が伐採された荒川河川敷

雑木が伐採された。荒川河川敷はすっきりとした景観を取り戻し、アメリカシロヒトリ等の害虫発生減少も期待される。



車両マーキングシール

⑤青森市に本拠地を置くプロサッカークラブ「ラインメール青森FC」と連携したサッカー教室の開催

組合では問屋町内の全車両貼付を目指しており、古くからの組合員から若い世代まで積極的に勧めている。受付期間外でも配付しており、お問合わせは卸センター業務部まで。

組合員昼食会

組合員昼食会が6月2日(金)に問屋町会館2階大会議室で開催され、組合員従業員ら59名が参加した。

はじめに、青森県が2020年に開設したあおり人材確保推進センターの坂本氏が、同センターが行う人材確保支援について説明した。

次に、障がい者雇用の現状について、青森障害者就業・生活支援センターすこやかの中野副所長が詳しく解説した。

つづいて、組合員の青森総合警備保障㈱が同社の提供す



組合員昼食会

る「みまもりサポート」サービス等について紹介した。最後に事務局からの情報提供が行われ、4年ぶりの開催となる納涼パーティーへの参加を呼びかけた。

リサイクル事業収益金寄付

組合では2022年度のリサイクル回収事業で得た収益金を福祉団体等へ寄付した。当活動は今年で9回目となる。

5月23日(火)には空き缶・ペットボトル回収事業の収益金5万円を青森市社会福祉協議会へ寄贈。組合の柳谷理事長が同協議会へ赴き、成田会長に目録を手渡した。柳谷理事長はリサイクル回収事業の概要等を説明し、「企業で発生する廃棄物の回収を促進し、今後も地域貢献していきたい」と述べた。



社会福祉協議会へ寄付

また6月13日(火)には、パソコンリサイクル回収事業での収益金3万円をパソコンの解体作業を行なう市内の障がい者施設に寄付した。当日は大平環境対策委員長が施設を訪れ、施設職員へ目録を贈



障がい者施設へ寄付

り、作業者を労った。SDGsを推進する組合では、今後も環境問題解決や社会福祉貢献に寄与するリサイクル回収事業及び寄付活動を継続していく。

河田氏を新会長に選任

青森問屋町経営同友会

青森問屋町経営同友会の第44回定時総会が6月2日(金)にホテルアラスカで開催され、会員21名が出席した。総会では柳谷会長が議長に選任され、審議の結果、提出案件が全て原案どおり承認された。

任期満了に伴う役員改選では、新会長に河田副会長、新副会長には元木幹事を選任。

また、(株)ゆうネットの山道社長が新たに幹事に選ばれ、柳谷会長は直前会長に就任し、その他の役員は留任となった。

た。

今年度同会では、会員間で情報交換するツールとして Slack(スラック)を導入。事務局から会員への情報発信や会員間の情報交換促進を図っていくこととした。

また総会に先立ち、同会会員である(株)ゆうネットの山道社長による「最近の葬儀について」と題した講演会を開催。葬儀の流れや必要性、コロナ禍によって変化した葬儀スタイルなどについて学んだ。

【新役員・敬称省略】

▽会長 河田高嗣 (株)ガスデ

▽副会長 河田高嗣 (株)ガスデ

▽副会長 元木桂吾 (株)元木商店 ※新任

▽幹事 和田祥平 (和田ゴム販売(株)) 村木裕俊 境建材(株) 桂木敏介 (南桂工業) 山道雄也 (株)ゆうネット ※新任



新会長に就任した河田氏

青森公立大で講義実施

組合では今年も青森公立大学の「事業論Ⅱ(流通業)」の講師を担当した。

講義は5月から6月まで全7回。事務局の小田切業務部長が問屋町や流通業について解説したほか、それぞれ業界の異なる組合員企業5社が自社の業務内容や業界について紹介。学生は地域における流通業や問屋町の果たす役割に理解を深めていた。

同大学で講義の講師を担当



公立大の授業で講師を務める

作業服・事務服、ご連絡ください。お問い合わせ。

企業服各種取り扱い

トンボ学生服 青森代理店 祭用品製造・販売



株式会社 神山

青森市問屋町 1-6-6

TEL 017-738-4581 FAX 017-738-4089

創業1947年 地域医療の発展に貢献する

株式会社 島津製作所 代理店

富士フィルムメディカル 株式会社 代理店

シーメンスヘルスケア 株式会社 代理店

江渡商事株式会社

本社 〒030-0131 青森市問屋町一丁目11番15号

TEL 017 (738) 4135 FAX 017 (738) 4138

URL http://etoshouji.co.jp

問屋町たんしん

【第5回問屋町1000日ウォーキング】

期 間

7月24日から10月31日まで

参加単位 1チーム3名

※1社から何チームでも参加可
参加料 1名3000円

参加者に万歩計を配付し、各社には万歩計の読み取りリーダーを設置してインターネット経由で歩数を管理。上位1位〜10位のチームには賞品及び健康関連グッズを贈呈、個人賞として1000日間で100万歩歩いた参加者には健康関連食品を贈る。

【八甲田山ハイキング】

日 時

7月30日(日)

午前10時15分〜午後3時

参加料

大人 1人 2000円
子供 1人 1000円



前回の八甲田山ハイキングの様子

業務報告

…主要事項…

- ※ロープウェー代、昼食・入浴代(酸ヶ湯温泉)含む
- 5月 9日▽第2回理事会
 - 11日▽第2回問屋町合同清掃
 - 12日▽安協問屋町支部交通安全グッズ寄贈式(横内小学校)
 - 15日▽金融審査会
 - 16日▽安協問屋町支部第1回役員会
 - 18日▽問屋町支店長・所長連絡会第2回幹事会
 - 23日▽空き缶等リサイクル回収収益金寄付
 - 29日▽第56回通常総会
 - 31日▽第1回事業委員会
 - 30日▽新任管理者研修(6月1日)
 - 11日▽ビジネススクール: (挨拶、名刺交換編)
 - 25日▽書いて伝えるコミュニケーション
 - 31日▽第1回事業委員会
 - 30日▽新任管理者研修(6月1日)

経済雑感

第三八回

あおもりコンピュータカレッジ
校長 千葉 哲泰

第68弾となる今回の経済雑感は、あおもりコンピュータ・カレッジの千葉校長にご寄稿いただいた。

平成30年4月に現職に着任し、これまで5年が経過しました。1回目は、あおもりコンピュータ・カレッジの概要についてご説明させていただきました。

技術者国家試験の取得を始め、最新のICTに関する知識、技術を習得し、卒業後は地域産業界の即戦力として活躍できる人材の育成を目指しています。開校からこれまで、2千4百名を超える卒業生を輩出し、お陰様でその多くが青森県内に就職し活躍しており、これも地元の方々のご理解、ご協力、ご賜物と深く感謝しています。また、学生が使用するパソコン等の教育訓練機器は、厚生労働省から無償貸与を受けていて最新でハイスペックの機器を整備すると共に、学費も比較的低廉なものとなつて



あおもりコンピュータカレッジ
校長 千葉 哲泰氏

います。人口減少時代を迎えた日本にとりましてICT(情報コミュニケーション技術)の活用は欠かせない状況と認識しています。少子化も年々進む中、人手不足により産業界では、今後のサービスや生産性の低下が危惧されています。業務の自動化やプロセスの短縮等が求められるICTは人手不足を補う手段として大いに期待されています。また、AIも急速な進化をとげ、身近な家電製品から、車の自動運転、ロボットによ

る業務の自動化等で既に人々の生活を支えていて、これらには多くのコンピュータプログラミング技術が使われています。情報セキュリティの問題も多様化し、安全なICT社会の実現のための人材も求められていて、これらに対応できる情報処理技術者のニーズは今後益々拡大するものと確信しています。即戦力となる情報処理技術者の育成に全力で取り組んでいる本校に対して、多くの皆さんに興味を持っていただければ幸いです。2回目は、私の着任から取り組みについて、お話しさせていただきます。引き続きよろしくお願いいたします。(つづく)



青森県公安委員会認定 第176号
(一社)青森県警備業協会 会員

K-Frontier Spirits Co.
K・フロスピ株式会社

代表取締役 小 枝 花 奈

交通誘導警備・施設警備・制服販売等

〒030-0901 青森市港町1丁目2-8

TEL:017-762-7226 FAX:017-762-7228 URL:https://kfrospi.jp/

業務用食材専門卸

株式会社 小 田 川

本社 青森市第二問屋町三丁目8番36号
TEL (017) 739-5465 FAX (017) 739-9058

(一財) 青森市産業振興財団

限りなく夢が広がるイベントホール

見本市と展示会の



青森産業会館
青森県調理師会

〒030-0113 青森市第二問屋町四丁目4-1

(産業会館) TEL 017 (739) 1811 (県調理師会) TEL 017 (739) 7337
FAX 017 (739) 1800 FAX 017 (739) 1800

〒030-0113 青森市第二問屋町四丁目4番1号

TEL (017) 739-1811 FAX (017) 739-1800

http://sangyokaikan.com/

会議・研修スポーツ・レクリエーション施設



青森市はまなす会館
青森市勤労者互助会

〒030-0131 青森市問屋町一丁目10-10

(はまなす会館) TEL 017 (738) 4821 (勤労者互助会) TEL 017 (764) 5061
FAX 017 (728) 2162 FAX 017 (764) 5062

交通安全グッズ寄贈

青森交通安全協会問屋町支部では、問屋町地区を学区に含む横内小学校、荒川小学校の一年生に交通安全グッズを寄贈した。



代表児童に反射バンドを手渡し

2017年に問屋町内交通

死亡事故ゼロ7千日達成を記念して始まった同活動も6周年を記念して実施された。

5月11日(木)には同支部の大平副支部長が横内小学校を訪問、5月12日(金)には工藤支部長が荒川小学校に赴き、代表児童に反射ミニバン



交通安全グッズ寄贈

ドを手渡した。受け取った児童は「ありがとうございます、大事に使います」と大きな声でお礼を述べた。

ハツ役五又路交差点路面標示更新

昨年実施の問屋町交通診断にて要望したハツ役五又路交差点の薄くなっていた路面標示が引き直された。

同交差点は第二問屋町から右折する際、空港方面又は旧道方面へ右折する車両が混在する変則的な交差点である。路面標示が薄くなると交差点内における停止位置が一定せず危険なため対策を要望。同



路面標示引き直し

交差点の管理者である東青地域県民局が引き直しを実施した。

組合及び青森交通安全協会問屋町支部では引き続き、問屋町内の交通事故防止につながる対策を関係機関に要望していく。

団地企業訪問

今回の団地企業訪問は、積水ハウス建設東北棟の小野所長にお話を伺った。

同社は、昭和48年に神戸市で積和工事グループとして発足し、積水ハウスの事業拡大とともに全国各地に設立。それぞれ地域と密着しながら、積水ハウスグループとして強いネットワークで結びつき、全国8社75拠点で事業を展開している。

「当社は、今年2月から積和建設東北棟から積水ハウス建設東北棟に社名を変更しました。積水ハウスの新築・リフォーム施工を専属で担う『積水ハウスグループ施工事業』と、元請け事業として産業用

建築物・戸建て住宅の新築からエクステリア・リノベーションにいたるまで、計画段階からお客様のニーズにお応えする『建築土木事業』の2つの事業を展開しています。職人不足が深刻な中、積水ハウスの社内資格などを受け、職人達による高い技術で工事を施工できることが当社の強みです」とアピール。

積水ハウス建設東北棟
北東北支店 青森事業所
事業所長 小野 敏博 氏

新たな取り組みについて聞くと「積水ハウスグループで推進している、現場からゴミを一切出さないゼロエミッションに取り組んでいます。現場から出たゴミを27種類に分別して仙台上集め、全てリ

大勢の方々に知ってもらいたい。仕事で何かお手伝いすることができれば嬉しいですね」と力強い。青森県民の印象について何うと「雪が多いですね。冬場の建築現場は、まず屋根の雪を下ろし

てからの作業になるので大変です。あとはお酒が大好きで人情味があって人間性がすごく良い印象です」と語る。ブライベートに話が及ぶと「青森に来てからゴルフを始めました。ぶっつけ本番でコースに行き、まだ数回しか行けていないので全然好きになれていないです。健康面ではお酒が大好きでやめられないので、夜はおかずのみにして白米を食べないように気を使っています」と笑う。

好きな言葉は「目配り、気配り、心配りができる。この3つの配りというのをいつも感じています。実家が旅館をやっていたので小さい頃からそれを見て育ちました。仕事にも活かしていきたいです」(46歳)

編集後記

組合の通常総会も無事に終わり2023年度事業が本格的に動き出しました。常設委員会、理事会での承認を経て、6月下旬から順次ご案内いたします。特に9月に実施する防災訓練。今回は11回目となりますが、災害はいつ起こるかわかりませんので日頃からの備えが重要です。今回は消火器やAEDの使い方などを訓練しますので奮ってご参加を。さて、6月21日は夏至でした。夏至は二十四節気の中でも重要な二つの一つで、日本ではこの日が1年のうちで最も昼の時間が長くなります。青森県における夏至の日の出は4時5分、日の入りは19時11分でした。どおりで最近、暗くなるのが遅いなどと感じるわけです。ここから1日1日と昼が短くなって、ね

ぶた祭が終わったらもう冬が来ると思ってしまうのは青森市民ならではでしょうか(笑)。夏至は陽のエネルギーが強い日とされ、エネルギーの転換期とも考えられているそうです。夏至を特別な日とする考え方は古代からあり、古代エジプト人はスフィンクスから見、夏至の日には昇る太陽が2つのピラミッドの間から現れるように計算してピラミッドを建設しています。また、イギリスにあるストーンヘンジ遺跡は、夏至の日に入口にあるヒール・ストーンから太陽が昇るように配置されています。そんな夏至のエネルギーを味方につけて運氣をアップさせるには、太陽の光をたくさん浴びるのがいいそうです。それを知らずにたまたまランニングしてたっぷり太陽の光を浴びた私にはどんな幸運が訪れるのか。今から楽しみです。(小田切)

地震に耐える
積水ハウス建設オリジナル
形状記憶耐力壁

積水ハウス建設東北株式会社

〒030-0131 青森市問屋町1丁目13-10
TEL 017-764-3622 FAX 017-738-3772



Total assist 東京海上日動の

自動車保険

あなたの大切なドライブのそばに。



東京海上日動 青森中央支社 To Be a Good Company

青森市長島2-19-1 青森東京海上日動ビル2階 〒030-0861
お問い合わせ先(TEL):017-775-2424